

立命館経済學

第 40 卷 第 1 号

1991年4月

内 容

論 説

不確実性の経済理論：覚書と展望（1）……………鈴木 登 1
——情報化社会における基底と位相を探って——

投下労働量・労働生産性・労働交換率の測定……………山 田 彌 28
——産業連関データによる日米経済の比較分析——

Personal Saving, Labor Force Participation and
Social Security Retirement Benefits in Japan……………山 田 哲 司 68

研 究

現代の「サービス諸部門」の
性格規定のための一考察……………長 岡 弘 樹 91

エレクトロニクス巨大企業における半導体事業……………肥 塚 浩 115

学位論文審査報告

中村平八『発展途上社会主義の研究』…………… 138

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第39巻・第5号

後藤 靖 教授退任記念論文集

内 容

後藤 靖教授退任記念論文集の刊行にあたって……………	三	好	正	巳
幕末維新期の山城茶業……………	石	井	寛	治
——在来産業と日本近代化——				
明治44年(1911)市制町村制改正と地方改良運動……………	山	中	永	之
——大阪市を事例とする考察——				
東芝コンツェルンの成立と軍需……………	下	谷	政	弘
アメリカ大企業体制と「ジャパナイゼーション」……………	塩	見	治	人
19世紀末フランス・ナショナリズムの境位……………	中	谷		猛
——ブレ・ファシズム思想の視角から——				
「三月革命」と官僚政治の相対的自立性の維持 (革命期における憲法制定過程)……………	川	本	和	良
——三月前期のプロイセンにおける「社会問題」と 社会政策および中間層政策の展開(i)——				
近代天皇制と社会政策体系……………	三	好	正	巳
現代イギリス地域政策の段階と特質(1)……………	若	林	洋	夫
軍産複合体と地域開発……………	藤	岡		惇
——米国南部の場合——				
産業革命期におけるケムニッツ機械工業の 発展と労働者の状態……………	山	井	敏	章
——1860年代ドイツの労働者運動と生産協同組合(1)——				
退任記念講義『近代天皇制研究の現段階と問題点』……………	後	藤		靖
後藤 靖教授の略歴と著作目録				

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第39巻・第6号

小檜山政克教授退任記念論文集

内 容

小檜山政克教授退任記念論文集の刊行にあたって……………	三	好	正	巳
ヒルファディングの創業者利得論……………	森	岡	孝	二
——拙論への批判にこたえて——				
国家社会主義と協同社会主義……………	大	野	節	夫
啓蒙専制と移行問題……………	今	井	光	太
フレキシブル・スペシャライゼーション論と ポスト・フォーディズム……………	篠	田	武	司
いわゆるラービン論文とその公表直後の波紋……………	岡	崎	栄	松
——執筆順序の問題を中心として——				
現存社会主義と「市場経済化」論……………	芦	田	文	夫
地域経済分析の基本視点について……………	杉	野	圀	明
マルクスの「自動機械体系」とFMS……………	高	木		彰
国家独占資本主義論における独占資本の 構造把握について……………	田	中	宏	道
J. Roemerの搾取論……………	甲	賀	光	秀
ヘーゲル生命論と初期マルクス……………	角	田	修	一
退任記念講義『社会主義思想の命運』……………	小	檜	山	政
小檜山政克教授の略歴と著作目録				
本年度会員業績・総目次				

発行所 立命館大学経済学会